

# 北 河 内 会 報

## 自然愛好会

2023年4月20日 №.116

北河内自然愛好会発行

事務局：大東市野崎 3-7-7

西畑敬一 方

ホームページアドレス：<http://www.cc-net.or.jp/~ja3aeh/3shizen/3-3kitakawati.htm>

### 2023年度北河内自然愛好会総会報告（太田 理）

日時：2023年1月28日（土）14：00～ 場所：大東市立野崎まいり公園多目的ホール

総会議事（（ ）内は担当者・敬称略）

1 開会宣言（司会：太田 理） 2. 西畑敬一会長挨拶 3. 2022年度行事報告（田中光彦） 4. 2022年度会計報告（稲原良三） 5. 2023年度行事計画（田中光彦） 6. 2023年度予算案（稲原良三） 7. 『北河内植物目録改訂版』発行について～当会創立30周年記念事業（木村雅行） 8. 北河内自然愛好会観察会400回「例会記録アーカイブズ」作成について（太田 理） 会報1号～40号（第1回～第170回）（作成：太田） 会報41号～77号（第171回～第315回）（作成：田中さん）。 会報78号～104号（第316回～第400回）（作成：太田）→総数35ページ 西畑さん、田中さんに植物名など点検してもらいました。また木村さんには年末年始のたいへんお忙しいときに全面的に校正をしていただき、ネット印刷の発注の仕方にも様式があるとのこと、やっていただきました。たいへんお世話になりありがとうございました。総会の時に木村さんが持ってきていただくとのことです。 9. 『北河内のキノコ目録』冊子発行について（田中光彦） 10. 会長・会計・運営委員選出・紹介（西畑会長） 会長：西畑敬一、会計：稲原良三、運営委員：栗田泰子、稲原ヒサエ、太田理（会報編集）、北川ちえこ、木村雅行、鈴木永子、高見君江、田中光彦、長島照文、中町荅子、中山千代美、西村寿雄

12. 会員発表 1. 「最近見た植物から」 田中光彦 2. 「寝屋川市自然を学ぶ会の活動紹介」 西村寿雄 3. 「木の実・草の実の観察-切る-」 木村雅行 13. 閉会宣言（太田 理）

### 2022年度行事報告（（ ）内は担当者・敬称略）

1月 1/29（土）2022年度総会 2月 426回例会 2/26（土）「鶴見緑地公園・咲くやこの花館温室」（鈴木永子、高見君江） 3月 427回例会 3/26（土）「野草を食べる一山田池公園」（西畑敬一、稲原良三） 4月 428回例会 4/10（日）自主参加「下田原の里山・里山一斉調査」四條畷市（太田 理） 429回例会 4/23（土）「穂谷散策」（西畑敬一） 5月 430回例会 5/3（火・祝）「淀川・三矢ワンドの植物」（木村雅行） 6月 431回例会 6/4（土）「淀川・城北ワンドの植物（ヤセウツボの群落等）」（田中光彦） 7月休会 8月休会 9月 432回例会 9/3（土）「星田園地の植物（アイナエ等）」（栗田泰子） 10月 433回例会 10/9（水）「キノコ観察」（長島照文・下野義人先生） 11月 434回例会 11/19（土）「六甲の紅葉」（中町荅子・稲原良三） 11月運営委員会 11/26（土）

### 2023年度行事計画（（ ）内は担当者・敬称略）

1月 1/28（土）総会。大東市立野崎まいり公園多目的ホール  
2月休会 3月 3/25（土）「野草を食べる」山田池公園・枚方市（西畑敬一・稲原良三）  
4月 4/1（土）「花明山（かめやま）植物公園」京都府亀岡市（長島照文・榎本知恵子）  
5月 5/13（土）「星田園地」交野市（稲原良三・中町荅子・栗田泰子）  
6月 6/10（土）「金剛山麓」大阪府千早赤阪村（田中光彦）  
7月 7/15（土）「獅子窟寺」交野市（木村雅行）  
8月 8/17（木）「瀬田公園」滋賀県大津市（田中光彦）サギソウ、モウセンゴケ、ミミカキグサ等が見られる。  
9月 30日（土）「京都御苑」（栗田泰子、稲原良三・ヒサエ、中町荅子）  
10月 10/——「キノコ」枚方市穂谷（長島照文・田中光彦）講師：下野義人先生（付記）下野先生が2/12ご逝去で実施できず）。

11月「巨椋池の干拓地」京都市（田中光彦）最寄り駅：近鉄向島駅→10月になるかも知れません。

11月運営委員会

◇上記のように計画していますが、例会内容は変更することもあり、会報発行時の「例会案内」でお確かめ下さい。

◎参加者：栗田泰子、磯田一雄、稲原ヒサエ、稲原良三、太田理、岡田三千代、影千恵子、北川ちえこ、木村雅行、鈴木永子、高見君江、田中光彦、長島照文、中町芥子、西畑敬一、西村寿雄、波多野恵子、発ひとみ（以上18名）

**第435回例会「春の野草を食べる」山田池公園 枚方市 2023年3月25日 西畑敬一**

行動制限も解除されマスクの着用も個人の判断にまかされた今年2年越しの例会で気合を入れていた矢先、朝5時半に起きると雨、慌てて天気予報を見る、午前7時ごろのは止むとの予報、稲原さんに電話する。集合時間前には止むだろうから決行しましょうとの事。9時前に集合場所に行くと稲原ヒサエさんが待機してくれていた。時間の経過とともに参加者も集まりだし出発時刻には20数名が集合、定刻より少し遅れて恒例の挨拶、コース説明、諸注意の後、出発。いつものコースながら今年は野草の伸びが早いように感じる（気のせいかな）。いつもならツクシが見られヤブカンゾウがまだ小さいのに様相が違う、それでも参加者は各自採集しながら野草ごとに分担しながら歩を進め目的地に向かう。参加者は採集が面白いらしくなかなか前に進まない、見かねて誰かがもう11時やで一早よ行かな昼すぎてしまうで一と言う声に押されて速足で向かう。

会場では一足早く稲原良三さんが一部のメンバーと共に調理具やその他の資材をセッティングして待機してくれていた。毎年とのことなので手分けして採集物を分別、整理、調理と手際よくおこなわれ、スムーズに事が運び、短時間で料理が出来上がった。お昼には少し時間が過ぎたがお腹もすいたし試食を兼ねた昼食タイムとする。メニューは天ぷらをメインに和え物、生食が並び、よもぎだんごのきな粉まぶし、みたらし餡かけが食欲をそそる。料理はみるみるなくなり、参加者のお腹に入っていく、食欲旺盛なこと、目をみはるばかり、短時間で完食となる。

食後のコーヒータイトで一息着いた後片付けに入る。片付けの最中一部の方たちが気にしていた採集物のナヨクサフジの採集品がシートの下から出てきてびっくり。誰かが“探してもないはずや、よっぽど食べられるのいややったんやなー”で一同納得。片付けも終わり最後の挨拶で現地解散。

◎当日の採集品と調理の種類は以下の通りです。

アカメガシワ（天ぷら）、オオカワジシャ（天ぷら）、カンサイタンポポ（天ぷら）、クズ（天ぷら）、クコ（天ぷら）、サルトリイバラ（天ぷら）、スカシタゴボウ（酢味噌和え）、スイバ（天ぷら、ポン酢+ごま油）、セイヨウカラシナ（酢味噌和え、ぽん酢和え、醤油+マヨネーズ、ごまあえ）、セリ（ポン酢、胡麻和え）、ノジシャ（天ぷら）、ノアザミ（天ぷら）、ノビル（生食、酢味噌和え）、フキノトウ（天ぷら）、ミドリハコベ（砂糖醤油）、ヤブカンゾウ（酢味噌和え）、ユキノシタ（天ぷら）、ヨモギ（天ぷら、団子）、ヨメナ（天ぷら）、レンゲ（マヨネーズ和え）他、ハハコグサ、ナヨクサフジ、クレソン、ヒメヒレアザミ等

**第435回例会「春の野草を食べる—山田池公園」 2022年3月25日 曇り 北川ちえこ**

微妙な天候で心配していましたが早朝に雨はやんだようで会は実施されました。慣れた方が多かったのか野草料理は手際良くこなされていたように思います。今回のエピソード1、ツクシの卵とじ用に用意した卵をカラスにかすめ取られました。稲原さんいわく摘み菜でツクシがなかったことをカラスがいち早く察したのではとのこと。エピソード2、洗ったままでは分かっているナヨクサフジが忽然と姿を消し最後まで行方知らずで終わりました。めったに起こらない事件の遭遇や、ソメイヨシノの開花が早く山田池公園内では初花見もでき初体験プラスの食べる会でした。

一番美味しかったのはと聞きました...美味しい◎（数字は人数）

○ダンゴ...定番の人気メニュー変わらぬ味すごいなあ・ヨモギ：きなこ◎2、みたらしタレ◎2

○生ノビル（球根）球根が大きかったのも原因だと思いますが、食べた後に辛味がやってきて不人気でした。辛いよーX2

○和え物...全体的に皆さん美味しく召し上がっていたように思います。個人としては味付けが濃く本来の味が分かりにくかったです。

・セイヨウカラシナ：（ポン酢◎2、醤油マヨネーズ、酢味噌、ゴマ醤油味醂入り）全部◎1・セリ：ポン酢、ゴマ醤油味醂入り・レンゲ：マヨネーズ・オランダガラシ（クレソン）：酢味噌、醤油マヨネーズ・ミドリ

ハコベ：砂糖醤油・ノビル：酢味噌◎1

○天ぷら...やはり、それぞれの食感が違うが癖のない食材に人気がありました。オオカワヂシャとノヂシャは少し苦味。おいしいランキングでは意外にもカンサイタンポポの花が一番でした。ほのかな甘味を感じたのは私だけではなかったようです。

・アカメガシワ（新芽）、オオカワヂシャ（葉）・カンサイタンポポ（花◎4、葉◎1）・クコ（葉）・クズ（新芽）◎3・サルトリイバラ（花、葉）・スイバ（新芽）◎1・ノアザミ（葉）・ノヂシャ（花と葉）・フキ（花フキノトウ）◎2、ヤブカンゾウ（葉）◎2、ユキノシタ（葉）・ヨメナ（葉）・ヨモギ（葉）

◎参加者感想

- ・生まれて初めてクコを食べてコリコリ歯ごたえが良く美味しかった・天ぷらはカリカリで美味しかった
- ・いろいろな種類があって美味しかった・毎年してほしい・晴れて良かった・楽しかった

◎見かけた動植物（見た順）

<藤坂駅～水路手前>ノゲシ花、ヤエムグラ、ヨモギ、クコ、ヒメヒレアザミ、ノビル、ヘラオオバコ、ヒメオドリコソウ花、ノボロギク花、ホトケノザ花、アキノノゲシ、スイバ、カラスノエンドウ花、コハコベ花、ススキ、ソメイヨシノ花、メリケンカルカヤ立枯、スミレ花、ノミノツヅリ、カスマグサ花、ノヂシャ花  
 <水路～山田公園>ノビル、カラスノエンドウ花、コセンダングサ実、ヒメジョオン花、スイバ、カタバミ、ヤブカンゾウ、ハナニラ花、オオイヌノフグリ花、カンサイタンポポ花、ムラサキカタバミ、ムスカリ花、ノゲシ花、スギナ、スズメノエンドウ花、セイタカアワダチソウ、ヤエムグラ花、ヒメオドリコソウ花、コハコベ花、イヌムギ花、コオニタビラコ、ヨメナ、ヘビイチゴ、シロツメクサ、オランダミミナグサ花、タネツケバナ花、実、スズメノカタビラ花、スズメノテッポウ花、アメリカフウロ、オオバコ、ノミノフスマ花、チガヤ、ヒメブタナ花、実、スイセン花、セイヨウカラシナ花、ホトケノザ花、カラムシ、アカメガシワ、オニタビラコ花、オランダガラシ、アレチギシギシ実、ナズナ花、実、ギシギシ実、イヌガラシ花、実、タガラシ花、ナガバギシギシ実、ノチドメ、ムラサキサギゴケ花、オオジシバリ、キュウリグサ花、セイヨウタンポポ花、実、イヌホオズキ、スイカズラ、シマトネリコ、ゲンゲ花、ハハコグサ花、ツボミオオバコ、コメツブツメクサ花、スカシタゴボウ花、トキワハゼ花、ノボロギク花、メリケントキンソウ、クズ、ツルニチニチソウ花、ドクダミ、ヤブジラミ、ヤブカラシ、カワヅザクラ花、実、センニンソウ、アレチマツヨイグサ実、サルトリイバラ花、ケリ声、スズメ、ウグイス声、ハクセキレイ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ヒヨドリ声

◎参加者：栗田康子、稲原ヒサエ・良三、遠藤エチ子、太田 理、北川ちえこ、木村雅行、桑原秀晃・由芽、鈴木永子、高見君江、田中光彦、長島照文、中町荅子、西畑敬一、発ひとみ、葉方敦子、（会員外）吹田弘一・章恵・琴子（小5）、占部みのり、上枝三津枝、大重文恵、高野宏美（以上24名）

※例会当日、木村雅行さんが参考にと皆さんに下さいました。以下転載。

■過去の例会での野草料理の味の評価の一部です。今日の味わいの参考にしてください。2023.03.24 木村

種名	調理方法	これまでの評価
アメリカオニアザミ	葉の天ぷら	気を付けて食べないと刺が舌にささる
オオカワヂシャ	葉のおひたし	苦味が強く、おいしくない カラシナのような味だが冷えるとかなり苦い
	葉のゴマ・マヨ和え	少し苦味があったが食べやすい味
オニノゲシ	葉の天ぷら	くせもなく、鋸歯の刺も気にならず、ふつうに美味しく食べれる 味分からない、トゲ気にならない
オランダガラシ	葉のサラダ	くせもないが、とくに美味しくもまずくもない
	葉の天ぷら	とくに美味しくもないがふつうに食べられる
	葉のおひたし	カラシナのような味、辛味より苦味が多い
カラスノエンドウ	葉のおひたし	とくに美味しくもないが普通に食べられる 全くくせがない
	葉の天ぷら	くせもなく、ふつうに食べられる 歯ごたえがカラっとではなくもちっりしていた

カンサイタンポポ	葉の天ぷら	さっくりと揚げれば、くせもなく、ふつうにおいしく食べられる くせもなく甘味があり意外と美味しかった
	葉のおひたし	少し苦味があるが、ふつうに食べられる
	花弁の甘酢あえ	特に苦味などなく、ふつうにおいしい。たくさん食べるものではない
コオニタビラコ	葉の天ぷら	くせもなく無味
スイカズラ	葉の天ぷら	後に少し苦味が残り、あまりおいしくない 苦味は少し、柔らかい
スイバ	新芽の天ぷら	酸味が強いが嫌な味ではない すこし酸っぱく、にゆるっとした食感がある 梅干しに似た快い酸味
スカシタゴボウ	葉のおひたし	とても苦くて辛くておいしくない。セイヨウカラシナの葉よりずっと辛みがある 苦味が強い、特に冷えると
	葉の天ぷら	少し苦味があった、苦味が強い
セイヨウカラシナ	葉のおひたし	少し苦味があるが、ふつうにおいしい程度の味 辛みの中に甘味がある辛みの中に甘味がある 少し辛みと苦味があるが、それほどまずくはない
セリ	葉のおひたし	セリの香りが淡い
ツクシ	天ぷら	よせ揚げ風にして、苦味はほとんどなく、おいしく食べられる 歯ごたえがよい
	炒めもの	甘辛く炒めて、苦味が少しあるが、結構おいしい 季節感あり
ニワトコ	葉の天ぷら	クセが無く味分からない
ノゲシ	葉の天ぷら	癖がない
ノビル	鱗茎の湯がき	生食より辛みも少なく、ふつうにおいしい 最後の方で少し苦味を感じる
ハコベ	葉のおひたし	とくに美味しくもまずくもない ほのかにハウレンソウと同じ味)
ヒメヒレアザミ	葉の天ぷら	気を付けて食べないと刺が舌にささる
フキ	花の天ぷら	ほろ苦さがあるが、おいしい 最後の方でフキの味を感じる
ベニシダ	新芽の天ぷら	こりこりとした食感で苦味などなく、ふつうにおいしい 少し苦味を感じ、歯ごたえが抜群にいい
ヤブカンゾウ	葉のおひたし	葉シャキシャキした食感が楽しめる。苦味などなく、少し香りもあり、おいしい
ユキノシタ	葉の天ぷら	ほとんど無味であるが、ふつうにおいしい クセが無く味分からない
ヨモギ	葉のおひたし	特有の香りがある あまりおいしくない
	葉の天ぷら	特有の香りがあるが、まずくもない
	よもぎ団子	きなこ醤油だれ どちらも香りがよくてとてもおいしい
レンゲ	葉のおひたし	すこし香りあり あまりおいしくない

第 436 回例会「花明山（かめやま）植物園観察会」京都府亀岡市 2023 年 4 月 1 日 榎本知恵子  
 少し暑いくらいの青空のもと、桜に迎えられての春の観察会でした。スプリングエフェメラルは時やや遅しでしたが、次の春の植物が待っててくれました。

大本花明山植物園は、亀岡城址内北側の約 5500 m<sup>2</sup>の敷地に、出口直日（なおひ）大本三代教主により昭和 26 年（1951）4 月に開園されました。日本の野生植物を中心に約 860 種が栽培されており、日本の植物総数のほぼ 1 割に当たるそうです。

JR 亀岡駅に集合し、植物園の入口までは 10 分足らずで行けますが、信号を渡るや否や早速観察会が始ま

リアリアケスマレ、ノボロギク ヒメオドリコソウ、濃紅色の珍しいカラコツバキ、そのあとエリナツバキにクワツバキと個人のおうちのお庭も観察しました。雑水川（ぞうずがわ）ほとりのソメイヨシノ、オオシマザクラを見ながらやっと大本教の入口まで来ましたが、まだまだ事前観察会は続きます。ツクシスマレ、セントウソウ、トラノオシダ、コスミレ、タチツボスマレと話題は尽きず、植物園入口まで 40 分弱かかりました。(笑)

本日は運よく園長代理の澤田徹先生に園内を案内していただくことができました。1 時間くらいとの打ち合わせでしたが、なんと休憩も昼食も取らずに沢山の植物を案内していただき「みなさんの熱心さが伝わって～」と先生は話されながらもやっと終わったのが（失礼ですネ！）1 時半をとっくに過ぎてました。

本日のスポットはコノハナザクラです。日本で初めてこの花明山植物園で発見された桜で、ヤマザクラの変種で花卉は 40~60 枚、雌蕊は 2 本が普通の八重桜です。原木を入れて 3 本が見事に満開でした。一輪でも落ちてたら花卉を数えたいなあとの声も聞こえてきました、が残念ながら花卉はバラバラです。

今年はイブキスマレ、ナベワリ、ヒメナベワリの体調が悪くバックヤードで療養中です。来春は見られるでしょうとの事でした。是非ジャコウソウ（8~9 月）、タニジャコウソウ（9~10 月）、ホウライカズラ（6~7 月）の頃にも来園したいです。

やっとやっとの昼食です。園内での食事が禁止のため、道中の雑水川ほとりの南郷公園でお花見ランチをしました。もう 2 時前です。みなさまお疲れさまでした！でも桜吹雪の中でのしあわせと、気持ちのいい春の一日にお許しください。予定通り 2 時過ぎには解散の運びとなりました。皆様ありがとうございました!!

（花が見られた草本）

アオイスミレ、ツクシスマレ（全体に毛が多い、葉はさじ型）、エイザンスミレ、ヒメスマレ、ナガハシスマレ（距がくちばし状に細長く上に向く）、マルバスマレ（葉）、イブキスマレ（葉）、バイモ、ミノコバイモ、クルマバソウ（葉が 6~10 枚輪生。クルマムグラによく似ているがクルマムグラの葉は普通 6 枚輪生。クルマムグラよりも珍しい）、キビヒトリシズカ（ヒトリシズカより花糸が長い）、ヒトリシズカ（3 つに分かれた雄蕊の基部に黄色の葯がつく）、ユキモチソウ、ラショウモンカズラ（今朝 1 輪咲きたて）、エンレイソウ（花終）、キクザキイチゲ、ニリンソウ、クサイチゴ、ヤマブキソウ、ミヤマカタバミ、ミスミソウ、レンブクソウ、カタクリ、ユリワサビ、オオユリワサビ、シライトソウ、ヒメツルキジムシロ、キジムシロ、ルイヨウボタン、オキナグサ、ハルトラノオ、ヒキノカサ、カワセミソウ、キンキエンゴサク、ムラサキケマン、カテンソウ（蕾の時に内側に折りたたまれた雄蕊が、開花するとはじけて花粉を飛ばす）、セントウソウ？（未確認：裂片の先が細ければヒナセントウソウ）、ヤマジャクヤク、ヤマネコノメソウ、シロバナネコノメソウ（花粉白色／ハナネコノメは花粉黄色）、ヒメリュウキンカ（外来種小型）／キクザキリュウキンカ（外来種大型）／（参考）リュウキンカ在来種・茎が立つ）、エンコウソウ（リュウキンカの変種・茎が横に長く這う・今朝 1 輪咲きだした）、ミズバショウ、トキワイカリソウ、キバナイカリソウ、シロバナサギゴケ、キランソウ、スズシロソウ、オドリコソウ

（花が見られた木本）

マメナシ（別・イヌナシ）、ニワウメ、ムラスズメ、キタコブシ、ヤマブキ、ミツマタ、シナレンギョウ、アオキ、ヒメウツギ、ハナイカダ（蕾）、ハナズオウ、シャクナゲ、コバノミツバツツジ、ハナノキ、オオカメノキ、オニイタヤ、コノハナザクラ、シジミバナ、ドウダンツツジ、テンダイウヤク、フッキソウ、キブシ、ボケ、ダンコウバイ（花終）、ケクロモジ（花終）、トサミズキ（花終）、ヒュウガミズキ（花終）、ゲンカイツツジ、ウグイスカグラ、サワシバ、アテツマンサク（花終）

書ききれないほどたくさんの植物を案内していただきました。見落とし多々ありですみません。

◎感想：今日の「花明山植物園」の例会、いろんな植物が見れて楽しかったです。担当の長島さん、榎本さん有り難うございました。2 時間以上かけて参加した価値がありました。また色々な所をご紹介下さい。(4/1 中野潤子)

◎また訪れたい場所の一つになりました。有難うございました♪ (4/3 岩井幸恵)

◎参加者：稲原ヒサエ 稲原良三 岩井幸恵 日下富貴子 鈴木永子 高見君江 田中光彦 長島照文 中野潤子 中町荅子 波多野恵子 発ひとみ 葉方敦子 藤井俊夫（会員外）榎本知恵子（以上 15 名）

《会員交流コーナー》\*\*\*\*\*

<古本ですが要りませんか>もしご入り用ならとお知らせします。『山溪カラー名鑑 日本の野草』1983年9月1日1刷発行719ページ高山から海辺まで、日本に自生する野草1534種を収録。『山溪カラー名鑑 日本の樹木』1988年10月20日9刷発行751ページ。日本で見られる樹木1446種類を収録。『私の植物図鑑』（普及版）佐藤達夫著昭和52年4月15日第1刷発行。彩色画32枚、単色画60枚以上。(1/27 太田理)

<寝屋川展示会の報告>寝屋川市自然を学ぶ会が中心となり、展示会『私の自然観察』が寝屋川市のアルカスホールで開催されました。学ぶ会の山田会長さんが当会の展示もしていただいています。学ぶ会から展示会の出展内容のチラシと北河内自然愛好会へのお礼状を頂いていますありがとうございました。(2/16 太田)

<写真展一枚方、交野の蝶>むかしの会員の山下清司さんが、下記の通り写真展を開催されます。写真展一枚方、交野の蝶。期間：2023年3月19日～3月31日、場所：枚方市菅原生涯学習センター (3/9 天野史郎)

<里山一斉調査>例年行われて今年で29年目を迎える里山一斉調査は今年から北河内自然愛好会の共催から外れました。ところが下見の下見に行って驚きました。大型開発をしていて道も拡張しています。そんなんで北河内皆さまにも一応お知らせして当日ご都合が付けばご参加の程よろしく願いいたします。

4月9日(日)9:40分飯盛霊園集合 (4/2 太田)

<アマナ>亀岡の帰り、河内磐船の駅近くの田んぼの畦の「アマナ」送ります。去年の場所と違うので正確な名前判りません。凄く増えてました。(4/3 中野潤子)

<万葉植物画>知人からもらった『万葉植物画 アートと万葉歌の出会い』（公園財団・日本植物画倶楽部発行）という本を何気なしに見ていると、何だか見覚えのある絵に気がきました。当会会報113号のカラーグラビア版で会員作品紹介した岩井幸恵さん「クズ」、中野潤子さん「ショウブ」、影千恵子「カシワ」のお三方の作品がその本に掲載されていたのでした。113号のと同じ絵ですが、それに万葉歌が添えられています。(4/15 太田)

◎異動等(敬称略) 入会：葉方敦子(2023.1.1)

退会：中山千代美(2/19 大東市)、2/16 名誉会員下野義人先生(ご逝去。ご冥福をお祈りします。)

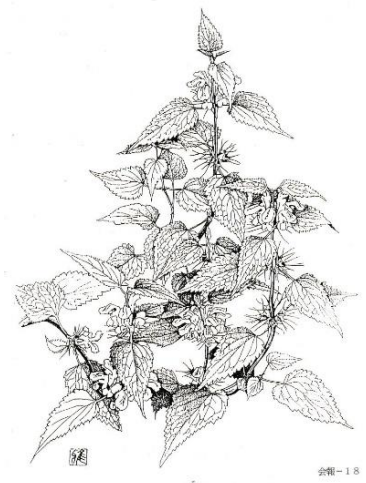
編集後記：ようやく春めいてきたと思ったら、暑さを感じる日も出てきました。編集や投稿に関して、お気軽にご意見などお寄せ下さい。(太田)

<p>【諸連絡の窓口】 ◇会の代表者・会長：西畑敬一 072-876-8114  ◇会費の納入・会計に関して：稲原良三 072-892-8507  ◇会報の投稿・編集に関して：太田理 0743-79-9665 会員交流コーナーなども太田宛メールか郵送で送ってください。 ma36ux75ml@kcn.jp 〒575-0013 四條畷市田原台 7-5-2</p> <p style="text-align: center;">北河内自然愛好会 年会費 1000円 郵便振替 00970-4-103735</p>
--

目次

2023年度北河内自然愛好会総会報告(太田 理) -----1  
第435回例会「春の野草を食べる・山田池公園」西畑敬一 -----2  
第435回例会「春の野草を食べるー山田池公園」北川ちえこ -----3  
参考「過去の例会での野草料理の味の評価の一部」木村雅行 -----3  
第436回例会「花明山(かめやま)植物園観察会」榎本知恵子 -----4  
会員交流コーナー -----6 異動 -----6 編集後記 -----6  
カラーグラビア版 -----別刷 例会案内 -----別刷

第55回例会の講師の岡田さんが描かれた「オドリコソウ・シソ科」です。



第55回例会の講師の岡田雅彦さんが描かれた「オドリコソウ(シソ科) (会報18号より)